

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]
(令和2年8月解析分)

1 今月のトピックス

■ 10月1日からロタウイルスワクチンの定期接種が始まります

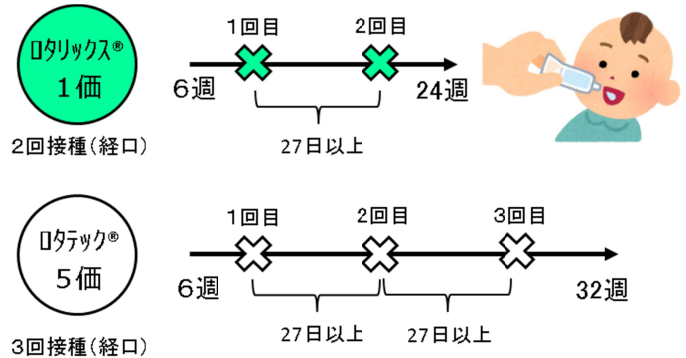
(1) 対象者

令和2年8月1日以降に生まれた0歳児

(2) ワクチンと接種回数

ワクチンは2種類あります。どちらのワクチンを選んでも、効能効果や安全性に差はありませんが、原則、途中で種類を変更することはできません。

ロタリックス®は生後24週、ロタテック®は生後32週を過ぎると、定期接種の対象外となりますので、ご注意ください。



詳細はお住まいの市町の予防接種担当課へお問合せください。

どちらのワクチンを選んだ場合でも、腸重積症※のリスクを避けるため、初回接種を生後6週から出生14週6日後までに接種することが推奨されています。

※ 腸の一部が隣接する腸管にはまり込む病気で、ロタウイルスワクチンの副反応のひとつです。ワクチン接種後(特に初回接種後)1～2週間くらいの間はかかりやすくなると報告されていますので、突然激しく泣く、嘔吐を繰り返すなどの症状が見られた場合は速やかに医療機関を受診しましょう。

(3) ロタウイルス感染症とは

ロタウイルスによって引き起こされる急性の胃腸炎で、乳幼児(0～6歳頃)にかかりやすい病気です。感染力が強く、ごくわずかなウイルスが体内に入っただけで感染してしまいます。

主な症状は、水のような下痢、吐気、嘔吐、発熱、腹痛です。5歳までの急性胃腸炎入院患者のうち40～50%前後はロタウイルスが原因で、ワクチン接種を受けることで重症化予防にも効果があるとされています。

広島県 ロタウイルス

検索

■ コロナ禍でも、予防接種を遅らせずに予定どおり受けましょう

予防接種のタイミングは、感染症にかかりやすい年齢などをもとに決められています。

ワクチン接種は「不要不急」ではありませんが、接種期間内に早めに接種を済ませてください。

医療機関や健診会場では、接種を行う時間や場所に配慮し、換気や消毒を行うなど、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に努めています。

新型コロナウイルス感染症の流行後に、外出自粛要請などの影響で予防接種を受けられなかった場合には、地域の実情に応じ、既定の接種期間を過ぎても接種できる場合があります。お住まいの市町にお問合せください。

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和2年7月分(令和2年7月6日～令和2年8月2日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	0	0.00	0.03		10	ヘルパンギーナ	14	0.05	1.86	↑
2	RSウイルス感染症	1	0.00	0.41		11	流行性耳下腺炎	17	0.06	0.48	→
3	咽頭結膜熱	91	0.32	0.63	↑	12	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.02	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	208	0.72	1.76	→	13	流行性角結膜炎	17	0.22	0.88	↓
5	感染性胃腸炎	710	2.47	4.23	→	14	細菌性髄膜炎	1	0.01	0.00	
6	水痘	21	0.07	0.27	↓	15	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.02	
7	手足口病	25	0.09	4.63	↑	16	マイコプラズマ肺炎	1	0.01	0.18	
8	伝染性紅斑	2	0.01	0.29		17	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	
9	突発性発しん	130	0.45	0.42	↓	18	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.02	

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和2年7月分(7月1日～7月31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
19	性器クラミジア感染症	85	3.70	2.58	↑	23	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	54	2.57	3.13	↓
20	性器ヘルペスウイルス感染症	12	0.52	0.96	↓	24	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1	0.05	0.45	
21	尖圭コンジローマ	21	0.91	0.65	↑	25	薬剤耐性緑膿菌感染症	1	0.05	0.09	
22	淋菌感染症	29	1.26	0.68	→						

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)

※報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

発生記号(前月と比較)

急増減疾患!!(定点当たり前月比2倍以上増減)
 ○急増疾患 なし
 ○急減疾患 なし

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↑	↓	1:1.5～2の増減
微増減	↑	↓	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象18疾患,月報対象7疾患)について,県内178の定点医療機関からの報告を集計し,作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～11	12, 13	19～22	14～18, 23～25	
定点数	43	72	19	23	21	178

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五类等感染症発生状況 【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	18	結核(18)〔西部東保健所(1),東部保健所(1),広島市保健所(8),呉市保健所(6),福山市保健所(2)〕
三類	5	腸管出血性大腸菌(5)〔西部保健所(1),西部東保健所(1),広島市保健所(2),北部保健所(1)〕
四類	21	レジオネラ症(12)〔西部保健所(1),東部保健所(2),広島市保健所(5),呉市保健所(1),福山市保健所(3)〕 日本紅斑熱(9)〔西部保健所(1),東部保健所(4),呉市保健所(1),福山市保健所(3)〕
五類	22	アメーバ赤痢(1)〔広島市保健所(1)〕 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(6)〔西部保健所(2),北部保健所(1),広島市保健所(1),福山市保健所(2)〕 バンコマイシン耐性腸球菌感染症(2)〔広島市保健所(2)〕 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(2)〔西部保健所(1),広島市保健所(1)〕 破傷風(1)〔広島市保健所(1)〕 梅毒(9)〔東部保健所(2),広島市保健所(6),福山市保健所(1)〕 百日咳(1)〔広島市保健所(1)〕
指定	195	新型コロナウイルス感染症(195)〔西部保健所(10),西部東保健所(2),東部保健所(4),広島市保健所(144),呉市保健所(6),福山市保健所(29)〕